

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
岩手県久慈市
【転出元】
北海道苫小牧市
【前 職】
プラント内設備の
防災・運転・維持管理業務
【活動時期】
R4.4~

協力隊に応募したきっかけ

両親も高齢化しており、地元に戻り定住したいと思っており、それを実現させるため、地元で生活出来る仕事を作りたいと考えたことが協力隊に応募したきっかけです。地域に必要とされる事業なら需要もあり、存続していけると思い、久慈市の地域問題である「白樺林の寿命の問題」に着目し、木の幹から醸造する「木のお酒」や白樺林の未使用資源の活用をその問題解決の一助に出来ればと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
・白樺・クロモジ・松を使用したハーブティーの製品化を目指します。
・テントサウナでのイベントを開き、一般の方に来てもらえることを目指します。
・木のお酒を実現するため、協力者や可能性を探し、進められる部分を増やすことを目指します。
任期後の目標
上記の事業化、地域資源活用に関するアイデアの事業化

活動内容

●木のお酒について

木を構成するセルロースは糖の塊であるが細胞壁により発酵が難しかった。その細胞壁を細かく砕くことで木自体の醗酵を可能とする技術が「木のお酒」となります。白樺で木のお酒を作る為、白樺林の現状や必要な技術や設備などを確認し、協力者や人材を募っています。



●白樺・クロモジのハーブティー

白樺の葉やクロモジの枝葉などの地域の未使用資源を使い、ハーブティーの試作品を作成した。飲料や香りを楽しむアロマとして製品化を目指しています。現在は葉の収穫や製造場所など飲料として出すための課題を確認しています。また、この地域の松を南部アカマツと呼びます。いずれはマツのハーブティーも考えています。



●ヴィヒタ、テントサウナイベント

サウナで体を叩くために使う白樺の枝葉を束ねたものを「ヴィヒタ」と呼びます。また、野外で気軽にサウナを楽しめるサウナテントというものがあります。現在、日本ではサウナがブームとなっています。未使用資源の白樺の枝葉や薪をテントサウナイベントで活用し、商品や地域のPRをして地域おこしに繋がりたいと考えています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) d-abe@city.kuji.iwate.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
今後、作成予定